

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果について

大山町教育委員会

平成29年4月18日に実施した「全国学力・学習状況調査」の大山町の結果について公表します。

この調査は、国語と算数・数学の2教科についての調査であり、児童生徒の学力の全てを見ることはできませんが、町内の各学校ではこの結果を一つの手がかりとし、成果と課題を明らかにして今後の教育活動に生かしていこうとしています。

今年度の調査は、悉皆調査となっているので、町内の全ての小・中学校が参加しています。

大山町教育委員会では、学校の取組の進捗状況を把握しつつ、より質の高い教育の実現に向けて取り組んでいきます。

I 調査の概要

1 調査の目的

- 義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- 学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- 小学校第6学年、中学校第3学年の全児童生徒を対象
- 教科に関する調査は、国語、算数・数学の2教科については「知識」に関する問題A、「活用」（知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力など）に関する問題Bを出題
- 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査を児童生徒と学校に実施

3 調査日時

平成29年4月18日（火）

4 大山町の参加状況

- 参加学校数 7校（小学校4校、中学校3校）
- 参加児童生徒数 258人（小学校6年生121人、中学校3年生137人）

5 調査結果の処理

- 学力調査・質問紙調査の結果とも、国がデータ処理したものと大山町が独自にデータ処理したものを使用しています。

※ 結果の分析に当たって、国・県と比べて平均正答率等の差に応じて次のように表現しています。

- ・差が5%未満の場合、「やや高い(低い)」「やや多い(少ない)」「やや大きい(小さい)」
- ・差が5%以上10%未満の場合、「高い(低い)」「多い(少ない)」「大きい(小さい)」
- ・差が10%以上の場合、「かなり高い(低い)」「かなり多い(少ない)」「かなり大きい(小さい)」

II 教科に関する調査結果

1 小学校

データ1 学力調査結果 (小学校)

(1) 小学校全体について

- 県全体の平均正答率は、国と比較して国語A、算数Bはやや高く、国語B、算数Aはやや低い。
- 大山町全体の平均正答率は、国と比較して国語A・B、算数Aがやや高く、算数Bはほぼ同等である。また、県と比較しても国語A・B、算数Aがやや高く、算数Bは同等である。

(2) 国語について

- 国語Aでは、学習指導要領の領域等「話すこと・書くこと」、評価の観点「話す・聞く能力」の平均正答率が、国と比較して高く、県よりやや高い。(国+6%、県+4.7%)
- 国語Aでは、問題形式「短答式」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+4.6%、県+2.2%)
- 国語Aでは、学習指導要領の領域等「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、評価の観点「言語についての知識・理解・技能」において、学校間の差がかなり大きい。(差10.0%)
- 国語Aでは、問題形式「短答式」において、学校間の差がかなり大きい。(差10.0%)
- 国語Bでは、学習指導要領の領域等「書くこと」、評価の観点「書く能力」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+4.3%、県+3.9%)
- 国語Bでは、評価の観点「国語への関心・意欲・態度」の平均正答率が、国と比較して高く、県よりやや高い。(国+5.7%、県+4.5%)
- 国語Bでは、問題形式「記述式」の平均正答率が、国と比較して高く、県より

やや高い。(国+5.7%、県+4.5%)

- 国語Bでは、学習指導要領の領域等「書くこと」、評価の観点「書く能力」において、学校間の差がかなり大きい。(差 10.8%)
- 国語Bでは、評価の観点「国語への関心・意欲・態度」において、学校間の差がかなり大きい。(差 11.8%)
- 国語Bでは、問題形式「短答式」において、学校間の差がかなり大きい。(差 19.6%)

(3) 算数について

- 算数Aでは、学習指導要領の領域等「量と測定」の平均正答率が、国や県と比較して高い。(国+5.6%、県+6.7%)
- 算数Aでは、学習指導要領の領域等「図形」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.4%、県+2.6%)
- 算数Aでは、学習指導要領の領域等「数量関係」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.4%、県+4.1%)
- 算数Aでは、評価の観点「数量や図形についての技能」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.1%、県+3.6%)
- 算数Aでは、評価の観点「数量や図形についての知識・理解」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.5%、県+3.2%)
- 算数Aでは、問題形式「選択式」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+3.5%、県+4.5%)
- 算数Aでは、学習指導要領の領域等「図形」において、学校間の差がかなり大きい。(差 20.8%)
- 算数Aでは、評価の観点「数量や図形についての知識・理解」において、学校間の差がかなり大きい。(差 10.7%)
- 算数Aでは、問題形式「短答式」において、学校間の差がかなり大きい。(差 10.3%)
- 算数Bでは、問題形式「選択式」の平均正答率が、国と比較してやや低い。(国-1.8%)
- 算数Bでは、問題形式「記述式」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.1%、県+2.0%)
- 算数Bでは、学習指導要領の領域「図形」において、学校間の差がかなり大きい。(差 11.8%)
- 算数Bでは、評価の観点「数量や図形についての知識・理解」において、学校間の差がかなり大きい。(差 10.9%)

2 中学校

データ 2 学力調査結果 (中学校)

(1) 中学校全体について

- 県全体の平均正答率は、国語A・B、数学Bともに国と比較して、やや低い。数学Aはやや低い。
- 大山町全体の平均正答率は、国や県と比較して国語A・B、数学A・Bともにやや高い。

(2) 国語について

- 国語Aでは、学習指導要領の領域等「読むこと」、評価の観点「読む能力」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+3.5%、県+4.5%)
- 国語Aでは、学習指導要領の領域等「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、評価の観点「言語についての知識・理解・技能」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.6%、県+2.2%)
- 国語Aでは、問題形式「短答式」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+3.6%、県+2.1%)
- 国語Aでは、学習指導要領の領域等「話すこと・聞くこと」、評価の観点「話す・聞く能力」において、学校間の差がかなり大きい。(差 10.8%)
- 国語Aでは、問題形式「短答式」において、学校間の差がかなり大きい。(差 13.5%)
- 国語Bでは、学習指導要領の領域等「書くこと」、評価の観点「書く能力」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.2%、県+2.7%)
- 国語Bでは、学習指導要領の領域等「読むこと」、評価の観点「読む能力」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+3.1%、県+2.8%)
- 国語Bでは、学習指導要領の領域等「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、評価の観点「言語についての知識・理解・技能」の平均正答率が、国や県と比較して高い。(国+7.5%、県+8.5%)
- 国語Bでは、問題形式「短答式」の平均正答率が、国や県と比較して高い。(国 5.7%、県 5.1%)
- 国語Bでは、学習指導要領の領域等「書くこと」、評価の観点「書く能力」において、学校間の差がかなり大きい。(差 20.1%)
- 国語Bでは、学習指導要領の領域等「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、評価の観点「言語についての知識・理解・技能」において、学校間の差がかなり大きい。(差 19.8%)
- 国語Bでは、評価の観点「国語への関心・意欲・態度」において、学校間の差がかなり大きい。(差 21.4%)
- 国語Bでは、問題形式「記述式」において、学校間の差がかなり大きい。(差 21.4%)

(3) 数学について

- 数学Aでは、学習指導要領の領域等「図形」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+2.2%、県+3.6%)
- 数学Aでは、学習指導要領の領域等「資料の活用」の平均正答率が、国や県と比較してやや低い。(国-2.9%、県-1.4%)
- 数学Aでは、学習指導要領の領域等「関数」において、学校間の差がかなり大きい。(差19.6%)
- 数学Aでは、評価の観点「数学的な技能」において、学校間の差がかなり大きい。(差18.2%)
- 数学Aでは、問題形式「短答式」において、学校間の差がかなり大きい。(差18.5%)
- 数学Bでは、問題形式「選択式」の平均正答率が、国や県と比較してやや低い。(国-1.6%、県-2.0%)
- 数学Bでは、問題形式「記述式」の平均正答率が、国や県と比較してやや高い。(国+4.4%、県+4.7%)
- 数学Bでは、学習指導要領の領域「図形」において、学校間の差がかなり大きい。(差18.4%)
- 数学Bでは、評価の観点「数学的な技能」において、学校間の差がかなり大きい。(差22.5%)
- 数学Bでは、問題形式「記述式」において、学校間の差がかなり大きい。(差20.3%)

Ⅲ 児童生徒質問紙調査の結果（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ共通）

1 小学校

データ3 小学校児童質問紙回答結果集計

(1) 鳥取県と国を比較して、大きな差が見られる項目

- ・ 住んでいる地域の行事に参加している割合・・・国より16.1%高い
- ・ 学習塾に通っていない割合・・・国より10.2%高い
- ・ 携帯電話やスマートフォンを持っていない割合・・・国より9.7%高い
- ・ 放課後、家で勉強や読書をしている割合・・・国より5.5%高い
- ・ 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いたりしてみたい割合
・・・国より6.4%低い
- ・ 放課後、塾に通っている割合・・・国より8.9%低い
- ・ 放課後、習い事をしている割合・・・国より10.9%低い

(2) 大山町全体の傾向（肯定的な回答の割合の比較）

○県と比較して、10%以上高い項目

- ・ 学習塾に通っていない
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・ 家で、学校の授業の予習をしていますか
- ・ 家で、学校の授業の復習をしていますか
- ・ 国語の勉強は好きですか
- ・ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか
- ・ 算数の勉強は好きですか
- ・ 算数の授業の内容はよく分かりますか

○県と比較して、5%以上高い項目

- ・ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ・ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・ 自分には、よいところがあると思いますか
- ・ 友達と話し合うとき、友達の考えを受け止めて、自分の考えを持つことができますか
- ・ 放課後、家で勉強や読書をしている
- ・ 土曜日の午後、家で勉強や読書をしている
- ・ 学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか
- ・ 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
- ・ テレビのニュース番組やインターネットのニュースを見ますか
- ・ 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- ・ 5年生までに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか
- ・ 国語の授業は大切だと思いますか
- ・ 国語の授業の内容はよく分かりますか
- ・ 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか
- ・ 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか
- ・ 調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）
- ・ 調査問題の解答時間は十分でしたか（国語B）
- ・ 調査問題の解答時間は十分でしたか（算数A）

○県と比較して、5%以上低い項目

- ・ 放課後、学習塾など学校や家以外の場所で勉強している
- ・ 放課後、スポーツ（スポーツに関する習い事を含む）をしている

- ・ 放課後、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている
- ・ 土曜日の午前、家でテレビやビデオ・DVDを見たり、ゲームをしたり、インターネットをしたりしている
- ・ 土曜日の午前、家族と過ごしている
- ・ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか
- ・ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか

○県と比較して、10%以上低い項目

- ・ 該当なし

○学校間の差が25%以上の項目

- ・ 放課後、家で勉強や読書をしている
- ・ 土曜日の午前中、家で勉強や読書をしている
- ・ 土曜日の午前中、スポーツ（スポーツに関する習い事を含む）をしている
- ・ 家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか
- ・ 家で、学校の授業の予習をしていますか
- ・ 家で、学校の授業の復習をしていますか
- ・ 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
- ・ 5年生までに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか
- ・ 国語の勉強は好きですか
- ・ 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか

2 中学校

データ4 中学校生徒質問紙回答結果集計

(1) 鳥取県と国を比較して、大きな差が見られる項目

- ・ 携帯電話やスマートフォンを持っていない割合・・・国より12.1%高い
- ・ 学校の部活動（運動部）に参加している割合・・・国より12.0%高い
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加している割合・・・国より8.5%高い
- ・ 1、2年生のとき、授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていた割合・・・国より7.3%高い
- ・ 学習塾に通っていない割合・・・国より7.2%高い
- ・ 新聞を読んでいる割合・・・国より7.2%高い

- ・ 1、2年生のとき、道徳の時間で、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた割合・・・国より 6.9%高い
- ・ 1、2年生のとき、授業中に生徒の間で話し合う活動をよく行っていた割合・・・国より 6.8%高い
- ・ 1、2年生のとき、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいた割合・・・国より 6.6%高い
- ・ 1、2年生のとき、授業の中で、目標（めあて・ねらい）が示されていた割合・・・国より 6.1%高い
- ・ 「総合的な学習の時間」で、自分で課題を立てて情報を集め整理し、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいる割合・・・国より 5.9%高い
- ・ 1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかりと伝えていた割合・・・国より 5.7%高い
- ・ 1、2年生のときに受けた授業で、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいた割合・・・国より 5.6%高い。
- ・ 1、2年生のとき、授業で扱うノートには、学習の目標（めあて・ねらい）とまとめを書いていた割合・・・国より 5.3%高い。
- ・ 読書が好きな割合・・・国より 5.0%高い
- ・ 家で、学校の授業の予習をしている割合・・・国より 6.1%低い。
- ・ 将来、外国へ留学したり、国際的な仕事に就いてみたいと思っている割合・・・国より 6.1%低い
- ・ 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文書に書いたりすることは難しいと思う割合・・・国より 6.5%低い

（2）大山町全体の傾向（肯定的な回答の割合の比較）

○県と比較して、10%以上高い項目

- ・ 難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか
- ・ 自分には、よいところがあると思いますか
- ・ 授業で学んだことを、ほかの学習や普段の生活に生かしていますか
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強していますか
- ・ 家で、学校の授業の復習をしていますか
- ・ 新聞を読んでいますか
- ・ 国語の勉強は好きですか
- ・ 国語の授業の内容はよく分かりますか
- ・ 国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか
- ・ 国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気をつけ

ていますか

- 数学の勉強は好きですか
- 数学の授業の内容はよくわかりますか
- 数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか
- 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか
- 数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか
- 数学の授業で公式やきまりを習うとき、その根拠を理解するようにしていますか
- 数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

○県と比較して、5%以上高い項目

- 友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか
- 将来の夢や目標を持っていますか
- 家の人（兄弟姉妹は除く）と将来のことについて話すことがありますか
- 家の人（兄弟姉妹は除く）は、授業参観や運動会などの学校の行事に来ますか
- 家で、学校の宿題をしていますか
- 家で、学校の授業の予習をしていますか
- 学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめていますか
- 学級のみんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか
- 先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか
- 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
- 1、2年生のときに受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか
- 1、2年生のときに受けた授業で、生徒の間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、自分の考えをしっかり伝えていたと思いますか
- 1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していたと思いますか
- 1、2年生のときに受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか
- 1、2年生のときに受けた道徳の時間では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいたと思いますか
- 生徒の間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思いますか

- ・ 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか
- ・ 数学の勉強は大切だと思いますか
- ・ 数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか

○県と比較して、5%以上低い項目

- ・ 地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか

○県と比較して、10%以上低い項目

- ・ 400字詰め原稿用紙2～3枚の感想文や説明文を書くことは難しいと思いますか
- ・ 学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか

○学校間の差が25%以上の項目

- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・ 学級会などの話し合い活動で、自分とは異なる意見や少数意見のよさを生かしたり、折り合いをつけたりして話し合い、意見をまとめている
- ・ 地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか
- ・ 1、2年生のときに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか

3 小学校と中学校の比較

データ5 質問紙調査結果の小学校と中学校の比較

(1) 大山町全体の傾向（肯定的な回答の割合の比較）

○中学校と比較して、小学校の方が10%以上高い項目

- ・ 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか
- ・ テレビを見る時間やゲームをする時間などのルールを家の人と決めていますか
- ・ 家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか
- ・ 家で、学校の授業の予習をしていますか
- ・ 家で、学校の授業の復習をしていますか
- ・ 学校で、好きな教科がありますか
- ・ 家で、予習・復習やテスト勉強などの自学自習において、教科書を使いながら学習していますか
- ・ 学校で、好きな授業がありますか
- ・ 今住んでいる地域の行事に参加していますか

- ・地域の大人（学校や塾・習い事の先生を除く）に勉強やスポーツを教えてもらったり、一緒に遊んだりすることがありますか
- ・5年生（中学1・2年生）までに受けた授業や課外活動で地域のことを調べたり、地域の人と関わったりする機会があったと思いますか

○中学校と比較して、小学校の方が5%以上高い項目

- ・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれますか
- ・地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか
- ・外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか
- ・「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか
- ・学校の授業などで、自分の考えを他の人に説明したり、文章に書いたりすることは難しいと思いますか
- ・国語の勉強は大切だと思いますか
- ・読書は好きですか
- ・国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか
- ・算数（数学）の勉強は好きですか
- ・算数（数学）の勉強は大切だと思いますか
- ・算数（数学）の授業の内容はよく分かりますか
- ・算数（数学）の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか
- ・調査問題の解答時間は十分でしたか（国語A）

○中学校と比較して、小学校の方が5%以上低い項目

- ・地域社会やボランティア活動に参加したことがありますか
- ・5年生（中学1・2年生）のときに受けた授業では、自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか
- ・5年生（中学1・2年生）のときに受けた授業の中で目標（めあて・ねらい）が示されていたと思いますか
- ・数学の授業の中で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか

○中学校と比較して、小学校の方が10%以上低い項目

- ・家の人（兄弟姉妹を除く）と将来のことについて話すことがありますか
- ・国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫していますか
- ・調査時間の解答時間は十分でしたか（国語B）
- ・調査時間の解答時間は十分でしたか（算数B・数学B）

IV 調査結果のまとめ

1 学力調査結果について

- (1) 小学校においては、国や県と比較して国語A・B、算数Aともに高く、算数Bはやや高い平均正答率となっている。

国語を研究の重点教科として、単元をつらぬく言語活動を大切にした授業づくりを進めた結果、学習内容の定着に改善が見られ、「話す・聞く能力」、「書く能力」においては、高い正答率を示している。

算数では「量と測定」、「図形」、「数量関係」の3つの領域について大きな伸びは見られるものの、依然として「数と計算」領域に課題が見られる。授業のねらいに沿った適用題を用意することと、適用題の量と質を考えていく必要がある。教科書レベルの適用題から教科書を超えるレベルの問題まで用意することで、児童一人一人がねらいに対してどこまで到達できているのか見取ることができ、日々の授業づくりに生かしていくことができるはずである。

- (2) 中学校においては、国や県と比較して国語A・B、数学A・Bともにやや高い平均正答率となっている。

国語については、4領域全ての項目で、国や県を上回っている。特に、「読むこと」については大きく上回っており、生徒会を中心とした読書活動の推進や学校図書館との連携などを通して、活字に触れる活動を大切にしてきた成果だと考えられる。

数学は、依然として「資料の活用」領域で課題が見られる。この領域の学習は主に年度末に実施されることが多く、習熟を図る時間も比較的少ない。そのことをふまえたうえで、年間指導計画等の見直しを考えていく必要がある。一方で「数学の勉強は好きですか」、「数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」などの質問は、国や県を大きく上回る割合を示し、例年以上に意欲的な生徒の姿が見られる。小学校から中学校へと続く授業づくりの取組が成果となって表れているように思われる。

- (3) 学校間の差については、小学校では全ての教科で正答率が10%以内の差となっているが、中学校では国語Aで10%以内の差となっているが、国語B、数学A・Bについては、14%~18%の差がある。

領域別に見ると、小学校国語A・Bでは、「書くこと」において、約10%の差があり、算数Aの「図形」領域では約20%の差がある。また、中学校の国語A・Bの「話すこと・聞くこと」で約10%の差があり、国語Bの「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、約20%の差が生じている。各学校が自校の結果をしっかりと分析し、学級経営や生徒指導を含め、日々の授業改善に取り組むとともに、放課後学習や家庭学習などとの関連を図り、学習内容を定着するための反復徹底を図るサイクルの構築が必要である。

校区の小・中学校が9年間を見通した生徒像を共有し、共通実践をもとにした学力向上に取り組むことが重要である。

2 質問紙調査結果について

- (1) 小学校においては、以前より課題であった「難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦していますか」という質問については改善の傾向が見られ、国や県よりも高い割合を示している。

また、「自分にはよいところがあると思いますか」、「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」などの項目でも国や県より高い割合となっている。自己肯定感や自己有用感が高い傾向にあり、いろいろなことに積極的に頑張ろうとする様子が伺える。

その一方で、国や県よりも肯定的な割合は高いものの、約50%にとどまっている項目として、「友達の前で自分の考えや意見を発表することは得意ですか」がある。学習内容の理解をより深めるためにも、授業中の活発な意見交換はとても大切である。現在各校が行っている授業研究の取組を推進する中で、改善していく必要がある。

- (2) 中学校においては、昨年度と同様に「自分にはよいところがあると思いますか」の肯定的割合が、国や県よりもかなり高い。また、「難しいことでも、失敗を恐れないうで挑戦していますか」の項目も高い割合を示している。

昨年度課題であった「地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか」については、依然としてやや低い傾向にあるが、「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の項目は、国や県を大きく上回っている。総合的な学習などでの体験活動や各地域で行われているまちづくり活動に参加しながら、意識を変容させていく必要がある。

- (3) 読書習慣について、「昼休みや放課後、学校が休みの日に、本（教科書や参考書、漫画や雑誌除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学校図書室や地域の図書館に週1回以上行く割合」は、小学校が29.7%、中学校が24.7%であり、小・中学校ともに県と比較し5~8%高く、非常に良好な結果となっている。

これは、大山町子ども読書活動の推進計画をもとに、ブックスタートからブックサード、乳幼児期からの読み聞かせや小・中学校での音読ボランティア、司書教諭や学校司書の取組、学校での委員会活動などの成果だと考えられる。小・中学校のノーメディア週間などを活用しながら、読書に親しんだり、親子で会話をする時間を増やしたりすることで、心豊かな大山町の子どもたちを育てていくことが大切である。

- (4) 平日の家庭学習については、県と比較して「家で、自分で計画を立てて勉強していますか」という質問について、肯定的な回答割合が小学校では17.7%高く、中学校でも18.2%高い。また、「学校の授業の復習をしていますか」と

いう質問についても、肯定的な回答割合が小学校では 16.0%、中学校でも 10.4%と高く、非常に良好な結果である。

昨年度課題であった中学校の「学校の授業時間以外に、普段（月～金曜日）、1日1時間以上、勉強をしている割合（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」については、昨年より約9%増え、60.1%であった。しかし、県と比較すると依然として8.1%も低く、引き続き大山町家庭学習の手引きなどを活用した家庭学習に取り組んでいく必要があると思われる。

また、「普段（月～金曜日）、テレビゲーム（コンピュータゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含む）を1日2時間以上している割合」については、小学校では26.5%、中学校26.7%となっている。

さらに、「普段（月～金曜日）、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットを1日2時間以上している割合（携帯電話やスマートフォンを使ってゲームをする時間は除く）」についても、小学校では11.6%、中学校では18.8%となっている。

平日、子ども達が家で過ごす時間は限られている。その限られた時間の中で、食事や身支度、宿題、手伝いなど、すべきことはたくさんあるが、その中でゲームやスマートフォンに2時間以上費やすという時間の使い方について、もう一度家庭で考えていく必要がある。

- (5) 全国的に、児童生徒が携帯電話やスマートフォンを持つことから生じるさまざまな課題が指摘されている。大山町の子ども達の携帯電話やスマートフォンの所持率も昨年度から急激に増加し、今年度もほぼ変わらない数値となっている。（下の表参照）

	H27 所持率 (県との比較)	H28 所持率 (県との比較)	H29 所持率 (県との比較)
大山町小学生	39.5% (-8.4%)	54.5% (-4.1%)	52.1% (-1.5%)
大山町中学生	58.9% (-5.3%)	71.9% (-1.5%)	70.3% (-1.5%)

「持つことによる危険性」「情報モラルの徹底」「家庭でのルールの徹底」などの指導・啓発を、学校や家庭、地域が連携し継続性のある取組を進めていく必要がある。